

参考 調9－(6)

令和8年2月24日
火山調査研究推進本部
火山調査委員会
機動調査観測部会

機動的な調査観測の実施計画

雌阿寒岳

○雌阿寒岳の調査研究方策（令和8年2月24日第8回火山調査委員会）

雌阿寒岳の評価のために機動的な調査観測を含めた以下の調査研究が必要である。

- 今後の活動推移を評価するための、火山ガス（二酸化硫黄）の継続的な観測、地表面及び地下の温度変化を捉える観測。
- ごく小規模な噴火の発生を物理データとして捉えて活動推移を把握するための、大気圧変動の観測。
- 山体北東麓で時々発生する膨張性の地殻変動と火山活動との関連性を解明するための、地殻変動の観測。

○雌阿寒岳の機動的な調査観測の実施計画

- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量を把握するために、山麓等での観測を継続的に実施する。
- 熱異常域の分布及び各熱異常域の長期的な変化を把握するために、衛星を用いた解析を実施する。
- ごく小規模な噴火発生を捉えるために、空振計もしくは微気圧計による観測を実施する。
- 山体北東麓の膨張性の地殻変動源と火口付近の間の領域の地殻変動を把握するために、GNSS観測を実施する。

十和田

○十和田の調査研究方策（令和８年２月24日第８回火山調査委員会）

十和田の評価のために機動的な調査観測を含めた以下の調査研究が必要である。

- 噴火ポテンシャル評価に資する詳細な地下構造を推定するための調査。
- 噴火の可能性の評価に資するため、地震等の地殻活動に関する調査。

○十和田の機動的な調査観測の実施計画

- 地震活動が活発化している領域を含む、広い範囲の地下構造を把握するために、比抵抗構造調査を実施する。
- 地震活動の時空間分布や浅部低周波地震の活動を詳細に把握するために、稠密地震観測を実施する。

草津白根山

○草津白根山の調査研究方策（令和８年２月24日第８回火山調査委員会）

草津白根山の評価のために機動的な調査観測を含めた以下の調査研究が必要である。

- 白根山における主火口以外での噴火の可能性を評価するための、湯釜火口周辺浅部の詳細な震源分布、地殻変動源、地下構造を推定するための調査。
- 長期的な熱活動を評価するための地熱等の表面現象の観測、及びマグマ起源成分の湯釜湖水への流入量を把握するための調査。

○草津白根山の機動的な調査観測の実施計画

- 湯釜火口周辺浅部の詳細な震源分布、地殻変動源を推定するために、GNSS観測や稠密地震観測等を実施する。
- 熱異常域の分布及び各熱異常域の長期的な変化を把握するために、衛星を用いた解析を実施する。
- マグマ起源成分の流入量を把握するために、湯釜湖水の採取及び分析を実施する。

三宅島

○三宅島の調査研究方策（令和8年2月24日第8回火山調査委員会）

三宅島の評価のために機動的な調査観測を含めた以下の調査研究が必要である。

- 浅部比抵抗構造などからその存在が推察される火口直下の浅部熱水系の状態把握のための、火口周辺の熱活動の調査。
- 2000年のカルデラ形成後の火山体の構造変化や、長期的に活動しているカルデラ南西部のマグマ蓄積場などの把握のための、火山体構造の調査。
- 約2,500年前のカルデラ形成後の火山活動の特徴を詳細に把握するための、噴火履歴調査。

○三宅島の機動的な調査観測の実施計画

- 火口周辺の熱異常域の分布及び各熱異常域の長期的な変化を把握するために、衛星を用いた解析を実施する。
- 火口周辺の地下の温度変化を捉えるために、地磁気の時間変化の調査を実施する。

霧島山

○霧島山の調査研究方策（令和8年2月24日第8回火山調査委員会）

霧島山の評価のために機動的な調査観測を含めた以下の調査研究が必要である。

- 新燃岳の活動推移の把握や硫黄山における浅部熱水系の状態把握のための、火山ガスの化学組成等の分析、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の観測及び熱異常等の調査。
- 新燃岳の2025年の噴火及び活動推移の要因を理解するための、火山灰の詳細な分析。
- 新燃岳や硫黄山において発生する可能性のある噴火及びその活動推移を理解するための火口近傍での地震・空振等の連続観測、並びに観測に基づく深部から浅部への流体供給過程の解明。
- 各火山体の噴火履歴の精緻化やマグマ供給系の中長期的な時間変化の理解のための、地質・物質の調査及び分析。

○霧島山の機動的な調査観測の実施計画

- 火山ガスの化学組成等及びその変化を把握するために、マルチガス等による観測を実施する。
- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量を把握するために、山麓等での観測を実施する。気象庁が行っている観測データの共有等の協力を得る。
- 新燃岳や硫黄山等の熱異常の時間的変化を調査するために、衛星を用いた解析を実施する。
- 新燃岳の2025年の噴火及び活動推移の要因を理解するために、2025年の噴火で採取した火山灰の構成物や化学組成、組織の詳細な分析を実施する。